

情報処理・文献検索 (1 単位)

担当者氏名 梅澤貴典

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

研究を進めるにあたって最初のステージである先行研究調査の方法を学び、情報検索の技術、得られた情報の評価と加工、論文執筆にあたっての情報の活用方法を実践形式で習得する。「玉石混交の Web 情報」とは異なる「権威性と信頼性のある学術情報」がどのように組織化・提供されているかを理解し、研究の効率を高めるための技術を学ぶ。到達目標：自身の研究テーマについて、図書館と論文データベースを用いて日本および海外の研究文献を収集し、集めた文献の価値（他の研究者へのインパクトなど）を評価し、デジタル文献管理ツールを使って論文執筆のための先行研究リストを作成し、適切なルールに基づいて引用（参考文献の表記法を含む）ができるようになること。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

情報検索

論文執筆

データベース

電子ジャーナル

研究評価

図書館

情報管理

研究者倫理

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義概要	講義の概要	①研究のための限られた時間をより有効に活用するため、論文などこれまでに研究・発表されて来た世界中の学術情報を効率的かつ網羅的に探す方法を身につける。 ②一般検索エンジンでは検索できない学術情報（クオリティの高い学術雑誌の掲載論文など）の役割と意義を理解する ③様々なテクニックを用いた研究活動の効率化について学ぶ 準備：①自分の研究テーマを明確にし、これまでにおこなった調査・研究を踏まえ、不足している情報と「どのような文献が必要なのか」を意識しておくこと。
2	文献検索の基本	大学図書館の活用法 E ジャーナルと DB の違いと特色	
3	科学技術論文・書籍・統計情報の探し方	CiNii、WebcatPlus 等の特色と使用方法・テーマに応じた検索法と演習	
4	論理演算の基礎	シソーラス、分類、キーワード、検索演算子と検索式の立て方	
5	外国語文献の探し方	Web of Science 等の海外論文データベースによる検索法と演習	
6	文献情報の評価と分析	統計解析機能を用いた情報評価	
7	これまでの復習	小テスト	
8	文献整理と参考文献リストの作り方	EndNote Web を用いた参考文献リスト作成	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

第 1 回の授業の際、参考文献リストおよび資料を配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

演習を含めた授業への積極性 50%、レポート 40%、小テスト 10%。

◆オフィスアワー

質問等があれば随時メールにて受け付けます。

◆その他受講上の注意事項

・本講義は情報工学的な技能を学ぶものではありません。大学図書館およびデータベースを活用して情報を正確に探し、正しく評価するための方法を実践的に学びます。・講義中に学んだ各種情報ツールを用いて各自で検索をおこなうため、必ず大学のパソコンを使える ID を取得し、初回からログインできるように準備しておいてください。